

姥ヶ山諏訪社氏子会では、一昨年より、絵馬とおみくじを常に拝殿の前に用意していましたが、大変好評でこれからも継続いたしてまいります。室内安全、合格祈願などなど、ご希望の方は、代金を賽銭投入口に入れてお使い下さいますよう、お願ひいたします。

太々神樂舞では、心配された雨が最後の最後の大黒舞で雨のために供物撒きができなく、拝殿で舞つて頂き、大量に用意した、供物も拝殿の中で撒きました。これも過去に無いことで、語り継がれる様となりました。

姥ヶ山諏訪社氏子会の皆様、姥ヶ山自治会、地域の皆様には、いつも温かいご理解・ご協力を頂き、心から感謝いたしております。

姥ヶ山諏訪社氏子会の皆様、姥ヶ山自治会、地域の皆様には、いつも温かいご理解・ご協力を頂き、心から感謝いたしております。



準備作業の様子(8月24日)

方へ、代金を賽銭投入口に入れてお使い下さいますよう、お願ひいたします。また、二年参りも例年通り三十一日四時頃から淨火(焼き場)を初め、お札も販売いたします。今年もお札は天照大神、諏訪神社のお札それに『破魔矢』も用意いたしますので、よろしくお願ひいたします。

地域の皆様には家内安全、合格、健康、等々の御祈願として、お気軽に御参拝くださいますよう、お願ひいたします。

毎年大勢の皆さんに参加して頂いている「盆踊り」には、これまでの最高の人出ではないかと思われる盛況ぶりでした。踊りの休憩時に来場者に配られたアイス五〇〇個は、全員に行き渡らなかつたのではないかと思われ、踊りに参加した人に配布した参加賞は、二五〇個でした。これだけ多くの人達に楽しんでもらえるには、踊り場が狭く今後の問題として、本部テントの位置変更等の検討が必要と思われます。

この盆踊りを見ていた来賓の人がしみじみと、「姥ヶ山の踊りは松の木に囲まれたこの環境で行われている…これが昔からの本当の盆踊りなんだよねーこれからも続けて欲しいですね」と語りかけてきました。今まで何気なくこの祭りに対応してきた自分ですが、確かに近年他の祭り会場は整備された公園等がほとんどであり、姥ヶ山の松の木の合間を縫つて踊る会場は希少価値があり、今後大切に継続していくかなれば…と感じさせられたものでした。

「姥ヶ山祭り」は、諏訪社氏子会と自治会で実行委員会を組織し、六部門の担当係で業務を分担しましたが、各係がそれぞれの役割を責任を持つて行い、又、お互い都合の付かない場合は分担して補完してもらいました。このように総合力で対応する、これが大切なものです。

最後に、本年も地元企業の皆様より昨年を超える協賛金を頂きましたことに心よりお礼を申し上げます。

姥ヶ山自治会報

第 72 号

発行者
姥ヶ山自治会
吉岡富三雄印 刷
新潟マイクロコンピュータ株

平成二十六年九月三十日現在

「姥ヶ山祭り」に思うこと

祭り実行委員長 利根川高雄

班 数 世帯数
一一五班 一、四二〇戸

太々神樂舞

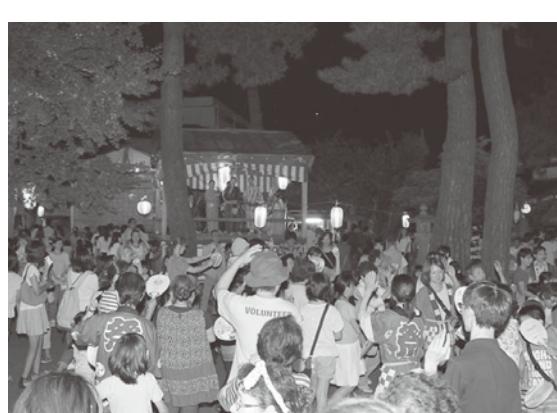
宮上り

「姥ヶ山祭り」は、諏訪社氏子会と自治会で実行委員会を組織し、六部門の担当係で業務を分担しましたが、各係がそれぞれの役割を責任を持つて行い、又、お互い都合の付かない場合は分担して補完してもらいました。このように総合力で対応する、これが大切なものです。

最後に、本年も地元企業の皆様より昨年を超える協賛金を頂きましたことに心よりお礼を申し上げます。



子どもみこし



盆踊り



ゲーム